

令和8年度厚生労働省行政事業レビュー外部有識者会合 議事概要

1. 日時

令和8年4月23日（木）14:00~14:36

2. 場所

厚生労働省共用第6会議室

3. 出席者

外部有識者：伊藤委員、井出委員（※）、井野委員（※）、上山委員（※）、大谷委員（※）、大屋委員、加藤委員、坂井委員（※）、高久委員（※）、寺田委員、永久委員、橋爪委員（※）

（※）オンライン参加

厚生労働省：大臣官房会計課長

参事官（政策立案・評価担当）

4. 議事内容

（議題）令和8年度公開プロセス対象事業の選定

厚生労働省から公開プロセス対象候補の12事業について、事業概要、選定理由及び想定される論点を説明。外部有識者の投票を踏まえて、意見交換が行われ、厚生労働省が候補として挙げた以下6事業について異論は出なかった。今回の議事概要とともに、大臣、副大臣又は大臣政務官にお諮りをした上で、公開プロセス対象事業を選定する。

<令和8年度の公開プロセス対象事業>

- 総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業【医政局】
- 臓器移植対策事業【健康・生活衛生局】
- 予防接種対策費【感染症対策部】
- 労働時間等の設定改善の促進等を通じた仕事と生活の調和対策の推進（テレワーク普及促進等対策）【雇用環境・均等局】
- 障害者総合福祉推進事業【障害保健福祉部】
- 医療提供体制設備整備交付金（医療情報化支援基金）【医政局（医薬局・保険局）】

5. 外部有識者の主なコメント

<総論>

- 近年、公開プロセスにおいて議論した事業と類似するものがあれば、別の事業を対象事業として選定した方がよい。

<各論>

⑥ 刑務所出所者等就労支援事業

- 出所後の就職状況と再犯率の観測は、EBPM の観点になじみやすいものと思われるため、公開プロセス対象事業の候補として次年度以降も引き続き検討されたい。
- 出所後の就労について長く定着すると再犯率が下がるという相関関係があるとされている。法務省では保護観察対象となった者の追跡調査はできるが、満期出所者については必ずしも追跡調査ができるわけではないため、ハローワークの事業を通して出所後の就労について把握できるのであれば、興味深い。

- 以上 -